

常用漢字字体一覧——当用漢字表の告示前からあった母型

すべての常用漢字の字種を掲げる。()内は旧字体または注意すべき異体字。JISでは新字体を第一水準に、それに対応する旧字体を第二水準に収録しているが、画数が二画以上違うものしか収録していない。ここでは、画数が変わらないものもできるだけ「Adobe Japan 1-4」という規格で表示できる字形に限る。掲載した。

当用漢字字体表ですべての新字体を新しく作ったのではなく、当用漢字字体表が発表される前から普及していた字体もある。当用漢字のうち、当用漢字字体表が発表された時点で岩田母型製造所がす

でに母型(活字を鑄造する雌型)を持っていた字体の右側に「★印」をつけた。当時業界最大手だった岩田母型製造所に母型があるということは、その字体が当用漢字表の告示前から印刷物として普及していたということだ。なお、新字体でないもの、注意すべき異体字のない字種には印はつけていない。

当用漢字にはなく、常用漢字で追加された九五字には、「○印」をつけた。なお、当用漢字字体表の「燈」は常用漢字表で「灯」に変更され「燈」が旧字体になった。

【わ】亜(亞)哀愛惡(惡)握圧(壓)扱(扱)安暗(暗)

【い】以位依偉囿(圍)委威尉慰易為(爲)異移

維緯胃衣違(違)遺(遺)医(醫)井域育一壺(壹)逸

(逸)稻(稻)芋印員因姻引飲(飲)院陰隱(隱)韻

【う】右字羽(羽)雨渦浦運(運)雲【え】営(營)影映

榮(榮)永(永)泳英衛(衛)詠銳(銳)液疫益(益)駅

(驛)悦(悅)謁(謁)越閱(閱)円(圓)園宴延(延)援

(援)沿(沿)説文解字と唐の正字の字体は「沿」だが、康熙字典もほとんどの日本の印刷字体も「沿」演炎煙猿(猿)縁

(縁)遠(遠)鉛説文解字、唐の正字、康熙字典の字体は「鉛」。五車韻府、英華書院、築地活版四号、博文館四号、岡島宝文堂活版四号の

【鉛】塩(鹽)【お】汚凹央奥(奧)往(往)応(應)押

横(横)欧(歐)殴(殴)王翁(翁)黄(黃)冲億屋憶乙

卸恩温(溫)穩(穩)音(音)【か】下化(化)仮(假)

何価(價)佳加可夏嫁家寡科暇果架歌河火禍(禍)

稼(稼)花(花)荷華菓課貨(貨)過(過)蚊我画(畫)芽

賀雅餓(餓)介会(會)解回(回)塊壞(壞)快怪悔

(悔)懷(懷)戒拐改械海(海)灰(灰)界皆絵(繪)開

階貝効外害(害)慨(慨)概(概)涯(涯)街該(街)垣(垣)嚇各(嚇)括
 (擴)格核(核)殼(殼)獲確獲(獲)覺(覺)角較(角)郭閣隔(隔)革
 学(學)岳(嶽)樂(樂)額掛瀉(額)割(割)喝(喝)括活渴
 (渴)滑褐(褐)轄(轄)且株刈乾冠寒(寒)刊勘勸
 (勸)卷(卷)喚堪完官寬(寬)干幹患感慣憾換(換)敢棺
 款(款)歡(歡)汗漢(漢)環(環)甘監看管簡緩(緩)缶
「罐」の略字と別字
の「缶」が字体衝突肝艦(艦)觀(觀)貫還(還)鑑問(問)閑閑
 (關)陷(陷)館(館)丸含岸眼岩頑(頑)顏(顏)願【き】企
 危(危)喜器(器)基奇寄岐希幾(幾)忌揮机旗既(既)期
 (期)棋棄機(機)歸(歸)氣(氣)汽祈(祈)季紀規記貴起
 (起)軌輝飢(飢)騎鬼偽(偽)儀宜戲(戲)技擬欺儀
 (儀)疑義議菊吉喫(喫)詰却(卻)客脚虐(虐)逆
 (逆)丘久休及(及)吸(吸)宮弓急(急)救朽求泣球
 究窮級(級)糾(糾)給旧(舊)牛去居巨(巨)拒(拒)
 拋(據)拳(拳)舉(舉)虛(虛)許距(距)漁魚享京供競共凶
 協叫境峽(峽)強(強)「強」だが、康熙字典の字体も日本の印刷字体の多くも「強」恐(恐)恐(恐)

恭挾(挾)教(教)橋況狂狹(狹)矯(矯)胸脅興鄉(鄉)鏡
 響(響)驚仰凝曉(曉)業局曲極玉勤(勤)均斤琴禁
 筋緊菌襟謹(謹)近(近)金吟銀【く】九句区(區)苦
 驅(驅)具(具)愚虞(虞)空(空)偶遇(遇)隅(隅)屈掘靴
 (靴)縲桑勲(勲)君薰(薰)訓群(羣)軍郡【け】係傾
 刑兄啓(啓)型契(契)形徑(徑)恵(恵)慶憩揭(揭)
 携(携)敬景溪(溪)系經(經)繼(繼)莖(莖)蚩(蚩)螢
 計警輕(輕)鷄(鷄)芸(芸)「藝」の略字と別字
の「芸」が字体衝突迎(迎)鯨劇擊
 (擊)激傑欠(欠)闕「欠」は本来はこの二
つの旧字とは別字決潔(潔)穴結血
 月(月)件儉(儉)健兼(兼)券(券)劍(劍)圈(圈)堅
 嫌(嫌)建憲(憲)懸檢(檢)權(權)犬猷(猷)研(研)
 絹梟(縣)肩(肩)見謙(謙)賢軒遣(遣)險(險)顯
 (顯)驗(驗)元原嚴(嚴)幻弦減源玄現言限【こ】個
 古呼固孤己庫弧戸(戸)故枯湖誇雇(雇)顧鼓五互
 午吳(吳)娛(娛)後御悟碁語誤(誤)護交侯候光公
 功效(效)厚口向后坑好孔孝工巧幸広(廣)康恒

(恆)慌(慌)抗拘控(控)攻更校構(構)江洪港(港)溝(溝)甲皇硬稿紅絞(絞)綱耕(耕)考肯航荒(荒)行衡講(講)貢購(購)郊酵鉞(鉞)鋼降項香高剛号(號)合拷豪克刻告(告)国(國)穀(穀)酷(酷)黑(黑)獄腰(腰)骨込(込)今困墾婚恨懇昆。根混紺魂【さ】佐唆左差查砂詐鎖(鎖)座債催再最妻宰彩(彩)才採(採)栽歲(歲)濟(濟)災碎(碎)祭齋(齋)細菜(菜)裁載際劑(劑)在材罪財坂咲(咲)崎(崎)作削(削)搾昨策索錯桜(櫻)冊(冊)刷察撮擦札殺(殺)雜(雜)皿三傘。参(參)山慘(慘)散棧(棧)産(産)算蚕(蠶)贊(贊)酸暫殘(殘)【し】仕伺使刺司史嗣四士始姉(姉)姿(姿)子市師志思指支施旨枝止死氏祉(祉)私糸(絲)紙紫肢。脂至視(視)詞詩試誌諮(諮)資(資)賜雌飼(飼)齒(齒)事似侍兒(兒)字寺慈持時次(次)滋治璽磁示耳自辞(辭)式識軸七執失室濕(濕)漆疾質實(實)芝舎(舎)写(寫)射捨(捨)赦斜(斜)煮(煮)社(社)者(者)謝車遮(遮)蛇(蛇)邪借勺(勺)尺爵(爵)酌(酌)积(釋)若寂弱(弱)主(主)取守手朱殊狩珠種趣酒首儒受寿(壽)授(授)樹需囚収(收)周(周)宗就州修愁拾秀秋終(終)習(習)臭(臭)舟衆襲週(週)酬集醜住(住)充十從(從)柔汁(汁)澁(澁)獸(獸)縱(縱)重銃叔宿淑祝(祝)縮肅(肅)塾熟出術(術)述(述)俊春瞬。准循旬殉準潤盾純巡(巡)遵(遵)順処(處)初所(所)暑(暑)庶緒(緒)署(署)書諸(諸)助叙(叙)女序徐除傷償勝(勝)匠升召商唱獎(獎)宵(宵)將(將)小少尚(尚)床(牀)彰承抄招掌昇昭晶松沼消(消)涉(涉)燒(燒)焦照症省硝(硝)礁祥(祥)称(稱)章笑粧紹肖(肖)衝訟証詔詳象賞鐘障上丈乘(乘)冗剩(剩)城(城)場壤(壤)嬢(嬢)常情(情)条(條)淨(淨)状(狀)晷(晷)蒸讓(讓)釀(釀)錠囁(囁)飾(飾)植殖織職色舐(舐)食辱伸信侵(侵)唇。娠寢(寢)審心慎(慎)振新

森浸(浸)深申真(眞)神(神)紳臣薪親診身辛進
 (進)針震人仁刃(刃)尋(尋)甚(盡)迅(迅)陣
 【寸】酢(醋)凶(圖)吹垂帥推水炊睡粹(粹)衰(衰)
 遂(遂)醉(醉)鍾隨(隨)髓(髓)崇數(數)樞(樞)据
 杉澄寸【せ】世瀨(瀨)畝(畝)是制勢姓征性成(成)政整
 星晴(晴)正清(清)牲生盛精(精)聖(聖)声(聲)製
 西誠誓請(請)逝(逝)青(青)靜(靜)齊(齊)稅(稅)
 隻席惜斥昔析石積籍(籍)績責赤跡(蹟)切拙接撰
 (攝)折設窃(竊)節(節)說(說)雪(雪)絕(絶)舌仙
 先千占宣專(專)川戰(戰)扇(扇)栓(栓)泉淺(淺)
 洗染潜(潜)旋線織(織)船(船)說文解字と康熙字典の字体は「旁が八
刷字体の多くは「船」唐の正字にはこの字種がみあ
 (前)善漸然全(全)禪(禪)繕【そ】塑措疎礎祖(祖)
 租粗素組訴阻僧(僧)創双(雙)倉喪壯(壯)奏層
 (層)想搜(搜)掃(掃)插(插)操早曹巢(巢)槽燥争
 (争)相窓(窓)総(總)草莊(莊)葬藻裝(裝)走送

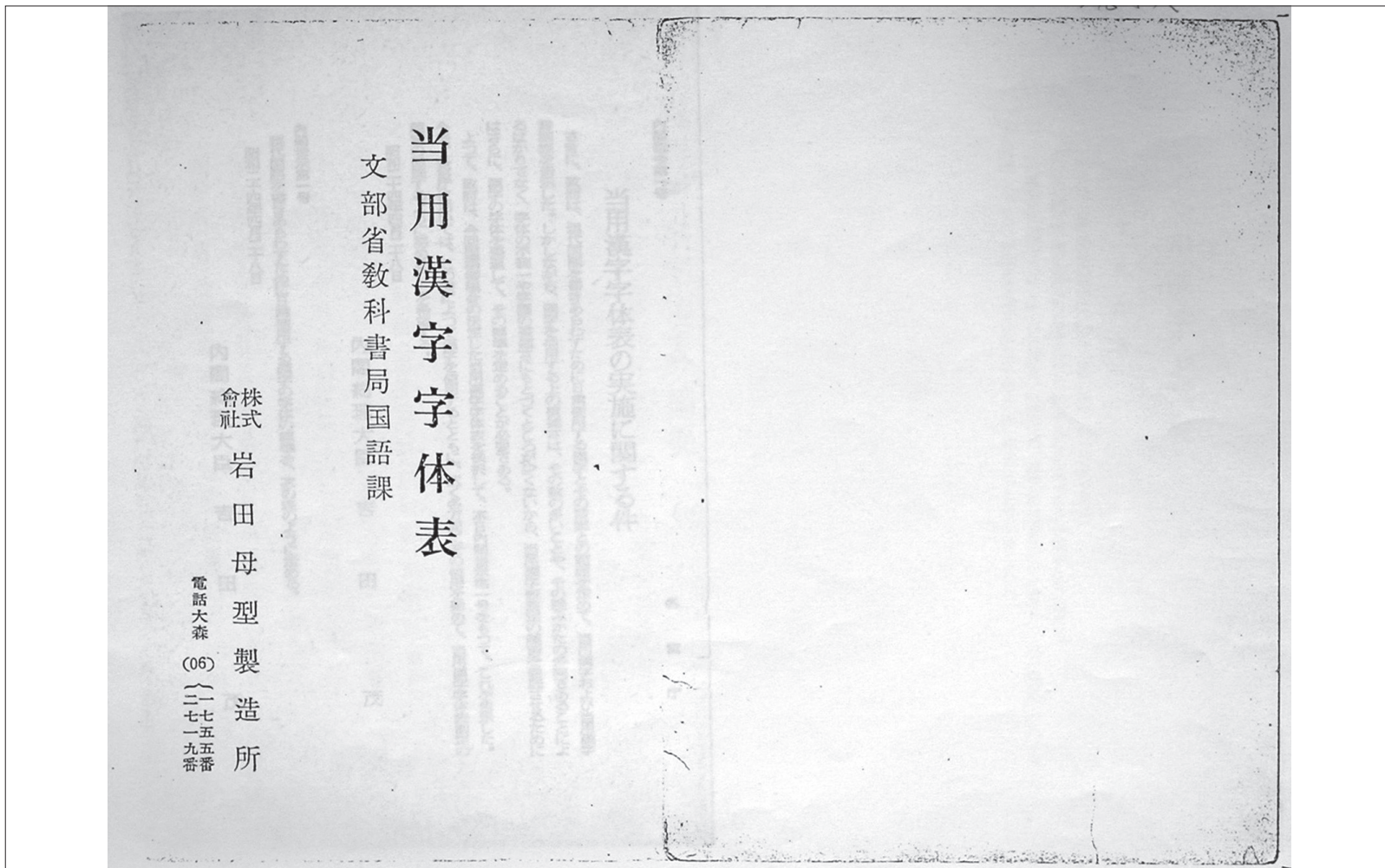
(送)遭(遭)霜騷(騷)像增(增)憎(憎)臧(臧)藏
 (藏)贈(贈)造(造)促側則即(即)息束測足速(速)
 俗属(屬)賊族統(續)卒存孫尊(尊)損村【た】他多
 太墮(墮)妥(妥)惰打馱(體)體は本
來は別字对(對)耐帶
 (帶)待怠態替泰滯(滯)胎袋貸退(退)逮(逮)隊
 (隊)代台(臺)台は本来は別字・天台宗
は天臺宗としてはならない大第題滝(瀧)卓宅挾
 (擇)拓沢(澤)濯(濯)託濁諾但達(達)奪脱(脱)棚
 (棚)谷丹(丹)单(單)嘆(嘆)担(擔)探淡炭(炭)短
 端胆(膽)誕(誕)鍛团(團)壇彈(彈)断(斷)暖(暖)
 段男談【ち】值知地恥池痴(癡)稚置致遲(遲)築畜
 竹蓄逐(逐)秩窒茶嫡着(著)着は「著」をく
ずしてできた字中仲宙忠抽
 昼(晝)柱(柱)注(注)虫(蟲)蟲の略字と別字
の「虫」が字体衝突衷鑄(鑄)駐
 (駐)著(著)貯丁兆帳庁(廳)弔張彫(彫)徵(徵)懲
 (懲)挑(挑)朝(朝)潮(潮)町眺(聽)脹腸調(調)超跳
 長頂鳥勅(敕)直(直)朕(朕)沈珍賃鎮(鎮)陳【つ】
 津墜(墜)追(追)痛通(通)塚(塚)漬坪(坪)釣(釣)

【て】亭。低停偵。貞呈(呈)堤定帝(帝)底庭廷弟抵提
 程(程)締艇(艇)訂通(遞)邸泥。摘敵滴的(的)笛適
 (適)哲徹撤迭(迭)鉄(鐵)典天展店添(添)転(轉)
 点(點)伝(傳)殿田電【と】吐塗徒斗渡登途(途)都
 (都)努度土奴怒倒党(黨)冬(冬)凍刀唐(唐)塔島
 悼投搭。東桃棟。盜(盜)湯灯(燈)当用漢字表で「燈」だったものが常用漢字表で「灯」に変更。当
 (當)痘等答筒糖(糖)統到討膳(膳)豆踏逃(逃)透
 (透)陶頭騰(騰)鬪(鬪)働動同堂導(導)洞童
 洞道(道)銅峠匿得德(德)特督篤毒独(獨)読(讀)
 凸突(突)届(届)屯豚曇鈍【な】内(内)繩(繩)南軟
 難(難)【に】二尼式(貳)肉(肉)日乳(乳)入如尿
 任妊(妊)忍(忍)認(認)【ね】寧(寧)猫熱年念燃
 粘(黏)【の】惱(惱)濃納(納)能腦(腦)農【は】把
 霸(霸)霸(霸)波派(派)破婆馬俳廢(廢)拜(拜)排敗
 杯背肺輩配倍培媒梅(梅)買売(賣)賠陪伯博(博)
 拍泊白舶薄(薄)迫(迫)漠爆縛(縛)麦(麥)箱肌畑

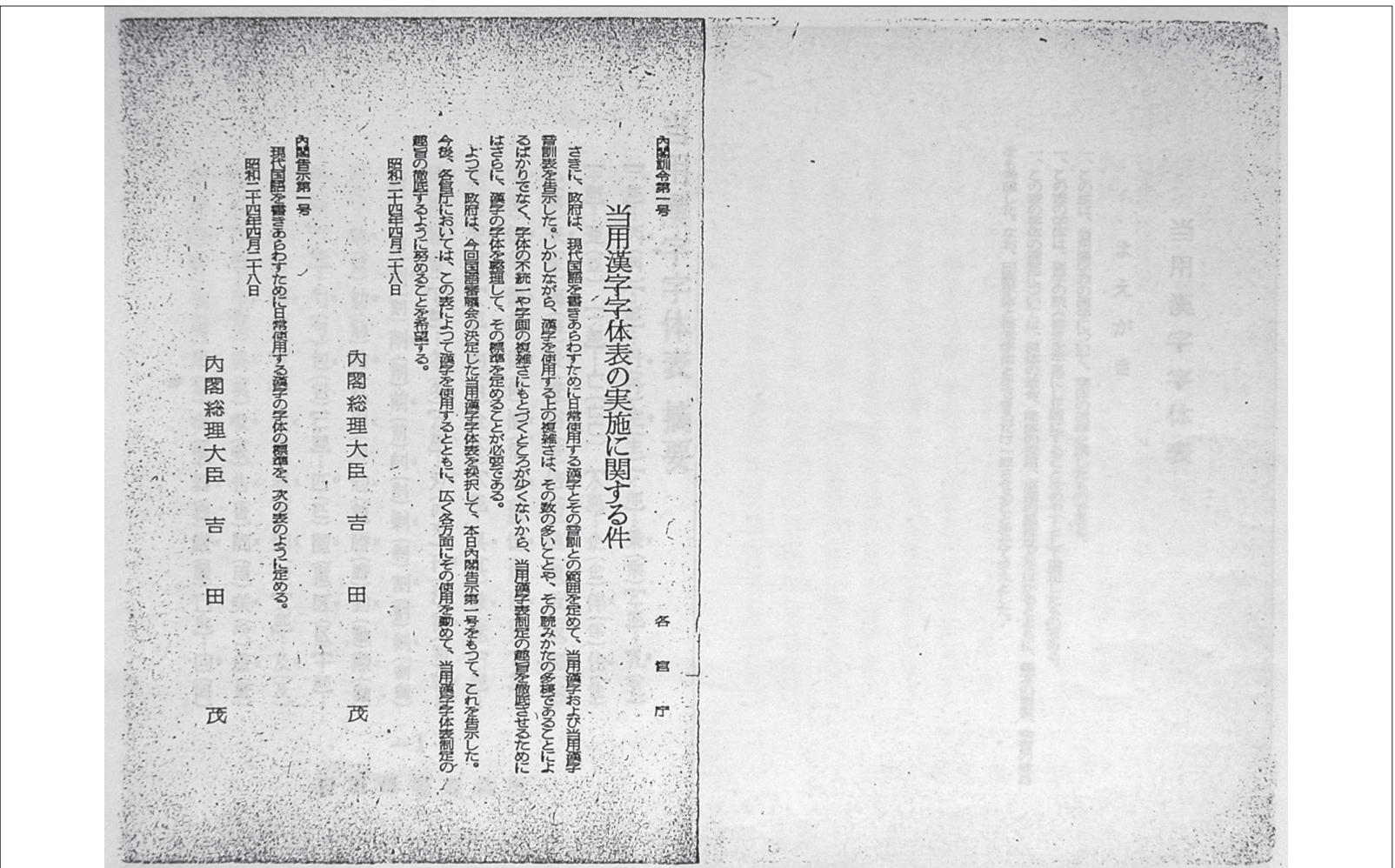
八鉢。発(發)髮(髮)伐罰拔(拔)閱伴(伴)判(判)半
 (半)反帆(帆)搬板版犯班畔(畔)繁(繁)般藩販範
 煩煩飯(飯)晚(晚)番盤蚕(蠻)【ひ】卑(卑)否妃
 彼悲扉(扉)批披。比泌疲皮碑(碑)秘(祕)罷肥被費
 避(避)非飛備尾微美鼻(鼻)匹(匹)必筆姬(姬)百
 俵標水漂票表評(評)描病(病)秒苗品浜(濱)貧賓
 (賓)頻(頻)敏(敏)瓶(瓶)【ふ】不付夫婦(婦)富
 布府怖扶敷(敷)普浮(浮)父符腐膚譜負賦赴附侮
 (侮)武舞部封風伏副復幅服(服)福(福)腹複覆扨
 (拂)沸仏(佛)物分噴墳憤奮粉紛雰。文聞【へ】丙
 (丙)併(併)兵塀(塀)幣(幣)平(平)弊(弊)柄(柄)
 並(竝)閉陞米壁癖別偏(偏)変(變)片編(編)辺
 (邊)返(返)遍(遍)便勉(勉)弁(辨)辦(辦)瓣
 辯(辯)瓣弁は本米は別字【ほ】保舖(舖)捕步(步)補穂(穂)募
 墓慕暮母簿(簿)倣俸包(包)報奉宝(寶)峰崩(崩)
 抱(抱)放方法泡(泡)砲(砲)縫(縫)胞(胞)芳褒

(褒)訪豊(豊)邦(邦)飽(飽)乏亡(亡)傍(傍)剖坊妨帽
 (帽)忘(忘)忙(忙)房(房)暴望(望)某棒冒(冒)紡
 肪膨謀貿防北僕(墨)撲朴(牧)没(沒)堀(堀)奔本翻
 (翻・翻)凡(凡)盆(盆)摩(摩)磨(磨)魔(魔)麻
 (麻)埋妹枚每(每)幕膜又抹(末)繭万(萬)慢滿(滿)
 漫(み)味未魅岬(密)脈(脈)妙民眠(む)務夢無矛霧
 婿娘(め)名命明(明)盟迷(迷)銘鳴滅免(免)綿面
 【も】模茂妄(妄)毛猛盲(盲)網(耗)木默(默)目
 戾(戾)問紋門(刃)夜野矢厄(役)約(約)藥(藥)詛
 (譯)躍(躍)柳(ゆ)愉(愉)油癒(癒)論(論)輸(輸)
 唯優勇(勇)友幽(憂)有猶(猶)由裕誘遊(遊)郵雄
 融夕(よ)予(豫)余(餘)与(與)譽(譽)預幼容庸揚
 搖(搖)擁曜(曜)樣(樣)洋溶用窯羊葉要(要)謠
 (謠)踊陽養(養)抑欲(慾)浴翌(翌)翼(翼)【ら】
 羅裸來(來)賴(賴)雷絡落酪乱(亂)卵欄(欄)濫覽
 (覽)【り】利吏履理痢裏(裡)里離陸律率(率)立

略(畧)流留硫粒隆(隆)竜(龍)慮旅(旅)虜(虜)了
 僚兩(兩)寮料涼獵(獵)療糧良量陵領力緑(緑)倫
 厘林臨輪隣(鄰)【る】罌(壘)淚(淚)累類(類)
 【れ】令例冷勵(勵)礼(禮)鈴隸(隸)零靈(靈)麗齡
 (齡)曆(曆)歷(歷)列劣烈裂廉(廉)恋(戀)練(練)
 連(連)鍊(鍊)【ろ】炉(爐)路露勞(勞)廊(廊)朗
 (朗)樓(樓)浪漏老郎(郎)六録(録)論【わ】和話賄
 惑杵湾(灣)腕



岩田母型製造所『当用漢字字体表』①。標写した版の一部分。



内閣訓令第一号

各官厅

当用漢字字体表の実施に関する件

当用漢字字体表は、現行の漢字字体表を基礎として、常用漢字の範囲を拡大し、印刷用漢字の範囲を拡大したものである。このため、印刷用漢字の範囲を拡大し、印刷用漢字の範囲を拡大した。印刷用漢字の範囲を拡大し、印刷用漢字の範囲を拡大した。印刷用漢字の範囲を拡大し、印刷用漢字の範囲を拡大した。

今、各官庁に於て、この当用漢字字体表を施行することとし、その施行の期日を、昭和二十八年五月二十六日とし、この旨を訓令で示す。

昭和二十八年五月二十六日

内閣総理大臣 吉田 茂

教育委員会委員長 吉田 茂
当用漢字字体表の施行期日は、昭和二十八年五月二十六日とする。

内閣総理大臣 吉田 茂

東京印刷製本所『当用漢字字体表』②

当用漢字字体表

まえがき

この表は、当用漢字の漢字として、字体の標準化したものを示す。この表の字体は、漢字の既成書体に基づいて正確に用いられなければならないとして標準化したものを示す。この表の字体の標準化については、字体の統合、略体の採用、意圖の整理をばかるとされた。漢字の活字、活字の整理、活字の統一、印刷字体、活字の統一をばかるとされた。漢字の統一をばかるとされた。

当用漢字字体表 摘要

一、部：丙(丙) 丹(丹) 主(主) 乘(乘) 乳(乳)
 二、部：皿(皿) 匕(匕) 匕(匕) 企(企) 伴(伴) 住(住)
 仏佛(来) 侮(侮) 侵(侵) 俗(俗) 倍(倍) 值(值) 飯(飯) 偏(偏)
 傍(傍) 伝(伝) 像(像) 偽(偽) 僧(僧) 価(価) 億(億) 儉(儉) 兎(兎)
 免(免) 兎(兎) 兒(兒) 内(内) 全(全) 具(具) 兼(兼) 刊(刊) 初(初) 判(判)
 冊(冊) 冒(冒) 冬(冬) 刃(刃) 刊(刊) 初(初) 判(判)
 (判) 券(券) 刻(刻) 削(削) 前(前) 割(割) 刺(刺) 割(割) 劍(劍)
 効(効) 効(効) 効(効) 勅(勅) 勅(勅) 勅(勅) 勑(勑) 勇(勇) 勉(勉) 勝(勝) 勤(勤) 勤(勤)
 励(励) 勑(勑) 勑(勑) 勑(勑) 包(包) 匹(匹) 匿(匿) 區(區) 区(区)
 半(半) 卑(卑) 博(博) 博(博) 危(危) 危(危) 卷(卷) 卷(卷) 即(即) 及(及) 及(及)
 反(反) 呈(呈) 呈(呈) 吳(吳) 吳(吳) 吸(吸) 告(告) 告(告) 周(周) 啞(啞) 啞(啞) 唐(唐)
 商(商) 啓(啓) 啓(啓) 單(單) 單(單) 嘆(嘆) 噀(噀) 噀(噀) 噀(噀) 噀(噀) 噀(噀)

— 1 —

岩田母型製造所

岩田母型製造所『当用漢字字体表』© 印刷局の字体「○」を、禁止の字体「×」を示したものである。

園(園) 國(國) 円(円) 団(団) 主(主) 坪(坪) 城(城) 培(培) 境(境)
 墜(墜) 增(增) 璽(璽) 壁(壁) 壇(壇) 墜(墜) 壞(壞) 主(主) 壯(壯)
 壽(壽) 契(契) 奧(奧) 獎(獎) 安(安) 妃(妃) 妥(妥) 妹(妹)
 姊(姊) 姪(姪) 姿(姿) 委(委) 娘(娘) 娛(娛) 婦(婦) 婿(婿) 婿(婿) 嫡(嫡) 嬪(嬪)
 嬪(嬪) 宜(宜) 害(害) 害(害) 容(容) 富(富) 寒(寒) 寒(寒) 瘦(瘦) 寧(寧) 寧(寧)
 寫(寫) 寬(寬) 守(守) 將(將) 專(專) 尊(尊) 尋(尋) 導(導) 導(導) 層(層)
 層(層) 峯(峯) 島(島) 嶋(嶋) 峽(峽) 崩(崩) 崩(崩) 巡(巡) 巢(巢) 巢(巢)
 巨(巨) 帝(帝) 帝(帝) 帶(帶) 帶(帶) 帽(帽) 幣(幣) 幣(幣) 平(平)
 幾(幾) 庶(庶) 庶(庶) 廉(廉) 廊(廊) 廊(廊) 廣(廣) 斤(斤) 應(應) 延(延)
 延(延) 弊(弊) 弊(弊) 寫(寫) 弦(弦) 弦(弦) 弱(弱) 強(強) 彈(彈) 彈(彈) 彩(彩)
 影(影) 影(影) 彰(彰) 彰(彰) 往(往) 往(往) 從(從) 從(從) 微(微) 微(微) 德(德)
 忍(忍) 忍(忍) 忘(忘) 忙(忙) 忙(忙) 急(急) 急(急) 怪(怪) 恒(恒) 恒(恒) 恐(恐) 恥(恥)

-2-

岩田母型製造所

悅(悅) 悔(悔) 情(情) 惠(惠) 惡(惡) 愉(愉) 意(意) 慎(慎) 慌(慌)
 慨(慨) 憎(憎) 憎(憎) 憩(憩) 憲(憲) 憶(憶) 心(心) 應(應) 懲(懲) 懷(懷) 懸(懸)
 成(成) 戒(戒) 戰(戰) 戲(戲) 戲(戲) 戶(戶) 戶(戶) 房(房) 房(房) 所(所)
 所(所) 扇(扇) 手(手) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱) 扱(扱)
 捨(捨) 掃(掃) 掃(掃) 授(授) 採(採) 採(採) 接(接) 控(控) 換(換) 揭(揭) 援(援)
 搖(搖) 搜(搜) 搜(搜) 携(携) 攜(攜) 攜(攜) 摘(摘) 摩(摩) 摩(摩) 擊(擊) 舉(舉) 撰(撰) 撰(撰) 支(支)
 收(收) 叙(叙) 敘(敘) 教(教) 敏(敏) 敏(敏) 敵(敵) 敷(敷) 敷(敷) 斗(斗) 斜(斜) 斜(斜)
 斤(斤) 新(新) 新(新) 万(万) 旅(旅) 旅(旅) 无(无) 既(既) 既(既) 百(百) 明(明) 昼(昼) 晝(晝)
 晴(晴) 暑(暑) 暑(暑) 暗(暗) 暖(暖) 曆(曆) 曆(曆) 曉(曉) 曜(曜) 曜(曜) 月(月) 月(月)
 服(服) 朕(朕) 朕(朕) 朗(朗) 朗(朗) 望(望) 望(望) 朝(朝) 不(不) 柄(柄) 柄(柄) 查(查) 查(查) 柱(柱)
 校(校) 核(核) 核(核) 梅(梅) 梅(梅) 条(条) 條(條) 械(械) 植(植) 植(植) 構(構) 概(概) 概(概) 樂(樂)
 枢(枢) 樞(樞) 樞(樞) 橋(橋) 橋(橋) 橋(橋) 機(機) 橫(橫) 橫(橫) 檢(檢) 檢(檢) 櫻(櫻) 欄(欄) 欄(欄) 欠(欠)

-3-

岩田母型製造所

碎碎碑碑示示部社社祈祈社社秘秘祖祖祝祝
 神神祥祥禍禍福福禪禪禮禮禾禾部稅稅程程
 称称稻稻穀穀穗穗稔稔稔稔穴穴部空空突突立立部章章童童童童競競竹竹部節節築築簡簡簿簿籍籍米米部粹粹精精糖糖糸糸部糾糾紀紀約約納納級級終終絕絕絞絞綠綠網網緒緒締締緣緣編編緩緩練練縛縛臬臬縫縫縱縱繁繁織織絨絨網網部置置罰罰署署羽羽翁翁羽羽翁翁習習翼翼老老部耒耒部耕耕耗耗耳耳部聖聖職職聽聽肉肉肖肖肩肩肺肺胞胞脈脈脫脫腰腰腸腸臟臟官官部臭臭官官部與與舍舍舖舖舟舟部船船艦艦良良部良良

次次欲欲款款歐歐正正部步步歲歲歷歷婦婦
 疍疍歹歹部殖殖歹歹部殺殺段段母母部每每每每毒毒毒毒部氣氣氣氣不不部決決決決沒沒沒沒沿沿沿沿派派派派浪浪浪浪浮浮浴浴浴浴海海浸浸浸浸消消消消涉涉涼涼涼涼淚淚淚淚淨淨淨淨清清添添減減減減港港港港渴渴渴渴準準準準溫溫溫溫溶溶溶溶滯滯滯滯滴滴滴滴滿滿滿滿漢漢漢漢潔潔潔潔潮潮潮潮洗洗洗洗濕濕濕濕濫濫濫濫瀨瀨瀨瀨災災部灰灰炭炭煮煮煙煙燒燒燒燒爐爐爐爐爪爪部爭爭爭爭為為爵爵爵爵片片部版版版版天天部狀狀狹狹狹狹猶猶猶猶獸獸獸獸率率率率至至部環環環環生生部產產產產留留留留畜畜畜畜畝畝畝畝略略畧畧画画画画当当半半部置置置置病病病病痲痲痲痲目目部的的的的目目部益益益益盛盛盛盛盜盜盜盜盡盡盡盡監監監監目目部盲盲盲盲真真真真瞬瞬瞬瞬石石部砲砲砲砲硝硝硝硝砲砲

(艸部)芽(芽荒荒)莊(莊菜菜)著(著蓄蓄)薄(薄薪薪)
 薰(薰藏藏)芸(芸菜菜)虚(虚虜虜)虞(虞虞)虫(虫部)
 融(融蚕蚕)五(五部)衆(衆行行)術(術術)衞(衞衣衣)衰(衰衰)
 被(被裕裕)補(補裝裝)裸(裸複複)要(要覆覆)
 [見部]視(視親親)覽(覽言言)記(記記)評(評該該)認(認
 誕誕)誠(誠誤誤)說(說調調)請(請請)論(論論)諮(諮諸諸)
 謁(謁騰騰)謙(謙謙)講(講講)謹(謹謹)識(識譜譜)變(變)
 讓(讓)冢(冢部)象(象象)負(負負)式(式資資)賊(賊資資)
 [賓]賂(賂賂)賣(賣賣)賴(賴賴)購(購購)贈(贈贈)起(起起)距
 [距]躍(躍)軍(軍部)較(較較)輸(輸輸)轄(轄轄)轉(轉轉)迅
 [迅]迎(迎迎)近(近近)返(返返)迫(迫迫)迭(迭迭)迷(迷迷)追(追追)
 [退]送(送送)逃(逃逃)逆(逆逆)透(透透)逐(逐逐)途(途途)通(通通)速(速速)造

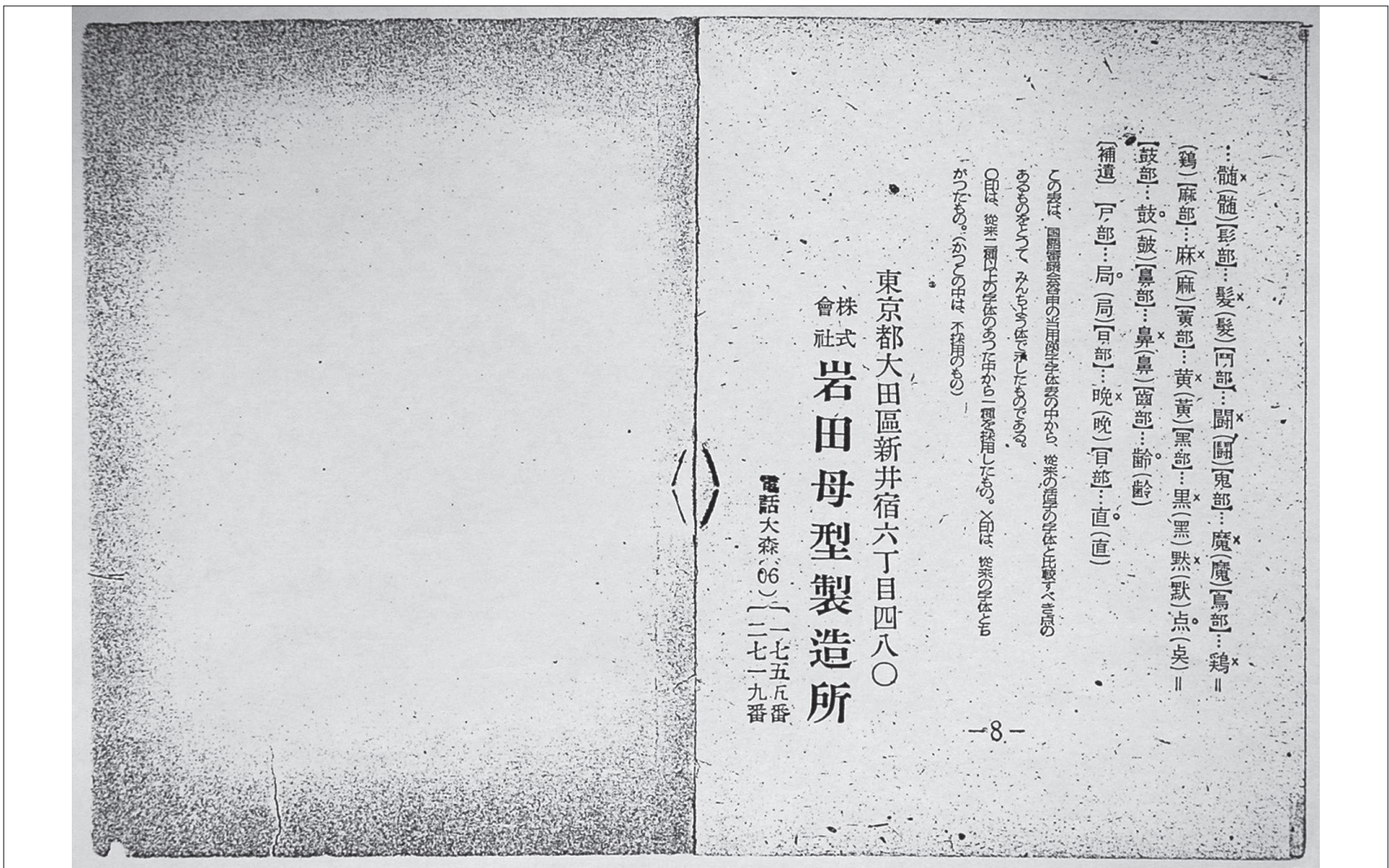
- 6 -

岩田母型製造所

(造)連(連連)速(速速)週(週週)進(進進)逸(逸逸)遂(遂遂)遇(遇遇)遊(遊遊)
 (運)遍(遍遍)過(過過)道(道道)達(達達)違(違違)通(通通)遠(遠遠)遣(遣遣)
 (適)遭(遭遭)遲(遲遲)遵(遵遵)遷(遷遷)選(選選)遺(遺遺)避(避避)還(還還)辺
 (辺)邨(邨部)邦(邦邦)邪(邪邪)郊(郊郊)郎(郎郎)郎(郎郎)都(都都)都(都都)郷(郷郷)郷
 [酉部]配(配配)酷(酷酷)醉(醉醉)釀(釀釀)金(金部)鉛(鉛鉛)銳(銳銳)録(録録)
 鍊(鍊鍊)鎖(鎖鎖)鎖(鎖鎖)鏡(鏡鏡)鐘(鐘鐘)錘(錘錘)鑑(鑑鑑)門(門門)間(間間)
 (閒)閔(閔閔)卑(卑部)陪(陪陪)陷(陷陷)隆(隆隆)隊(隊隊)隔(隔隔)障(障障)隣
 (鄰)隨(隨隨)險(險險)隱(隱隱)隸(隸隸)隸(隸隸)雅(雅雅)雇(雇雇)雜
 (雜)難(難難)雨(雨部)雪(雪雪)靑(靑部)靑(靑部)靑(靑部)靑(靑部)靑(靑部)靑(靑部)
 [韻韻]響(響響)響(響響)頁(頁部)顏(顏顏)類(類類)顧(顧顧)顯(顯顯)飛(飛部)翻(翻翻)
 [食部]食(食食)飢(飢飢)飢(飢飢)飲(飲飲)飯(飯飯)飼(飼飼)飽(飽飽)飾(飾飾)養(養養)
 餓(餓餓)館(館館)馬(馬部)駐(駐駐)騰(騰騰)騷(騷騷)驅(驅驅)驗(驗驗)骨(骨部)

- 7 -

岩田母型製造所



…髓×〔彫〕部…髮×〔冫〕部…鬪×〔鬼〕部…魔×〔高〕部…鷄× 〓

〔鷄〕麻部…麻〔麻〕部…黃×〔黃〕部…黑×〔黑〕部…默×〔默〕部…点〔点〕部…臭 〓

〔鼓〕部…鼓〔鼓〕部…鼻×〔鼻〕部…齒〔齒〕部…齡〔齡〕部

〔補遺〕可部…局〔局〕部…晚×〔晚〕部…直〔直〕部

この表は、國語院發給の正用檢定表を基として、従来の字の字体と比較すべきもの
をのべておいて、その字体としておさへておいた。

○印は、新編正用檢定表の正用したものを、×印は、従来の字体を
かいたものを、()印は、不採用のもの。

東京都大田區新井宿六丁目四八〇
株式會社 **岩田母型製造所**

電話大森(06) 一七五五番
二七一九番

岩田母型製造所『新編正用檢定表』

【参考資料】

《書籍》

- 江守賢治『解説 字体辞典』(三省堂 / 1986)
 『書籍』
 正岡子規『墨汁一滴』(岩波文庫 / 1927)
 『明朝体活字字形一覽』(文化庁文化部国語課 / 1999)
 府川充男『組版原論』(太田出版 / 1996)
 府川充男・小池和夫『旧字旧かな入門』(柏書房 / 2001)
 小池和夫『異体字の世界』(河出文庫 / 2007)
 笹原宏之・横山詔一・エリック・ロング『現代日本の異体字』(三省堂 / 2003)
 笹原宏之『日本の漢字』(岩波新書 / 2006)
 福田哲之『文字の発見が歴史をゆるがす』(二玄社 / 2003)
 阿辻哲次『漢字の文化史』(ちくま学芸文庫 / 2007)
 『定本書道全集』全19冊 (河出書房 / 1956)
 石川九楊『中国書史』(京都大学書道出版会 / 1996)
 石川九楊編集『書の宇宙』全24冊 (二玄社 / 1996 ~ 2000)
 佐野光一『拡大本 木簡草書編』(天来書院 / 1991)
 赤井清美『中国書道史』(東京堂出版 / 1979)
 増川宏一『将棋の駒はなぜ40枚か』(集英社新書 / 2000)
 増山雅人『将棋駒の世界』(中公新書 / 2006)
 駒研出版会『駒のささやき』(駒研出版会 / 1996)
 高島俊男『漢字と日本人』(文春新書 / 2001)
 白川静『漢字白話』(中公新書 / 1978)
 大島正二『漢字と中国人』(岩波新書 / 2003)
 大島正二『漢字伝来』(岩波新書 / 2006)
 加藤弘一『電腦社会の日本語』(文春新書 / 2000)
 池谷裕二・糸井重里『海馬 / 脳は疲れた』(朝日出版社 / 2002)
 池谷裕二『進化しすぎた脳』(朝日出版社 / 2004)
 山口仲美『日本語の歴史』(岩波新書 / 2006)
 山口仲美『日本語の歴史』(武威野書院 / 1976)
 国語学会編『国語史資料集』(武威野書院 / 1976)
 青木逸平『旧字力、旧仮名力』(NHK出版生活人新書 / 2005)
 円満字二郎『人名用漢字の戦後史』(岩波新書 / 2005)
 落合淳思『甲骨文字の読み方』(講談社現代新書 / 2007)
 『中国書法 顔真卿 第四冊』(千禄字書) (文物出版社 / 1983)

《書体・字体字典》

- 青山杉雨監修 師村妙石編『古典文字字典』(東方書店 / 1990)
 師村妙石編『統古典文字字典』(東方書店 / 1994)
 高田竹山監修『五體字類』改訂第三版 (西東書房 / 2001)
 小林斗盞編『中國璽印類編』(二玄社 / 1996)
 佐野光一編『木簡字典』(雄山閣 / 1985)
 佐野光一編『木簡小字典』(雄山閣 / 1988)
 伏見冲敬編『隸書大字典』(角川書店 / 1989)
 伏見冲敬編『角川書道字典』(角川書店 / 1977)
 藤原鶴来編『新書道字典』(二玄社 / 1985)
 赤井清美編『書体字典』(東京堂出版 / 1974)
 杭迫柏樹編『書体小字典』(東京堂出版 / 1990)
 杭迫柏樹編『王羲之書法字典』(二玄社 / 1987)
 梅原清山編『北魏楷書字典』(二玄社 / 2003)
 梅原清山編『唐楷書字典』(二玄社 / 1994)
 北川博邦編『日本上代金石文字典』(雄山閣 / 1991)
 北川博邦編『日本名跡大字典』(角川書店 / 1981)
 北川博邦編『和様字典』(二玄社 / 1988)
 根岸茂夫監修『江戸版本解説大字典』(柏書房 / 2000)
 林英夫監修『音訓引古文書大字典』(柏書房 / 1999)
 阿保直彦編『図解文字の書き方字典』(木耳社 / 1999)
 石川芳雲編『標準硬筆字典』(二玄社 / 1990)
 芝野耕司編著『増補改訂 J・I・S 漢字字典』(日本規格協会 / 2002)
 『康熙字典』内府本 (1716)
 陸軍幼年学校『用字便覧』(1914)

《漢和字典》

- 白川静監修 小林博編『漢字類編』(木耳社 / 1982)
 白川静『字統』(平凡社 / 1984)
 白川静『字通』(平凡社 / 1996)
 白川静『常用字解』(平凡社 / 2003)
 白川静・津崎幸博『人名字解』(平凡社 / 2006)
 藤堂明保編『学研漢和大典』(学習研究社 / 1978)
 加藤常賢『漢字の起原』(角川書店 / 1970)
 加藤常賢・山田勝美・進藤英幸編『角川字源字典』(角川書店 / 1972)

小川環樹・西田太一郎・赤塚忠編『角川新字源 改訂版』(角川書店 / 2006)

諸橋轍次・渡辺末吾・鎌田正・米山寅太郎著『大修館新漢和辞典 三訂版』(大修館書店 / 1991)

《WEB》

- 文化庁国語施策情報システム
<http://www.bunka.go.jp/kokugo/>
 当用漢字字体表 (音意支庫)
<http://www.aozora.gr.jp/kanji-table/rouyoukanji.html>
 駒の詩 (<http://8yanet/suiki/>)
 康熙字典網上路 (<http://www.kangxizidian.com/index2.php>)
 中国哲学書電子化計画—説文解字
<http://chinese.dsturgeon.net/text.pl?node=26160&f=gb>
 大修館書店 漢字文化資料館
<http://www.taisshukan.co.jp/kanji/>
 ウィキペディア (Wikimedia)
 《協力》
 岩田母型製造所
 《著者の WEB》
 TONAN's WEB (<http://www.tonan.jp/>)
 tonan's blog (<http://tonan.secsaa.net/>)